

平安市政3期目スタート



就任式で花束を受ける平安市長



3期目の意気込みを表明する平安市長

5月15日、平安正知市長が市政3期目のスタートを切りました。
平安市長は、施政方針と3期目の意気込みなどを語りました。

就任のあいさつ

市民の皆様におかれましては、平素より市政に対する温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私は、去る4月の市長選挙におきまして、引き続き3期目の市政を担わせていただけることとなりました。本市のまちづくりのかじ取りを改めて私に託していただき、責任の重大さを痛感しているところでございます。

平成17年に市長に就任して以来、2期8年間、「市民とともに未来の夢を語れるまち・おごおり」の実現のため、全力で市政運営に取り組んでまいりました。

お陰様で、市民の皆様のご理解とご協力によりまして、着実な前進と一定の成果を生み出すことができました。

さて、日本は今、株価の上昇、円高の解消、経済指標・景気動向の明るい見通しなど、再び力強い国へと再生するために動き出しています。

しかしながら、少子高齢化の更なる進展、社会保障経費の伸び、高度情報化社会の急速な進展、大規模な自然災害への備え、国際社会への対応など、樂觀を許さない課題が山積しております。

小郡市におきましても、これらの課題は避けて通ることのできないものであると考えております。

環境の変化や複雑・多様化する市民ニーズに対応し、持続発展可能なまち

づくりを实行するためにも、安定した行財政運営、職員の能力向上、時代に即応した体制整備などを行っていかねばなりません。

緑豊かな自然環境、交通の利便性に恵まれた住みよい住環境、豊かな人生に彩りを添える運動公園、あすてらす、文化会館、図書館等の公共施設、その他にも小郡が誇れるものが数々ございます。

この輝かしい可能性を秘めたふるさとを、さらに自信と誇りと愛着に満ちたまちにしていくことが、私に与えられた責務であると考えております。

このような状況のもと、2期8年間に取り組んできましたまちづくりの基盤を活かし、「自信と誇りと愛着に満ちたまち・おごおり」の将来像実現のため、「市民との協働のまちづくり」を基本理念とし、引き続き三つのビジョンである①「子ども共育で心豊かな人づくり」②「地域活力にあふれたふるさとづくり」③「健康で安心して暮らせるまちづくり」と10の政策に沿って市政運営を進めてまいります。

こうした市政を進めるためには、市民の皆様と行政との協働が不可欠でございます。市民の皆様方とともに手を取り合って考え、行動し、汗をかき、これからの小郡市の未来を切り拓くために、ひたすら努力してまいりますので、市民の皆様一人ひとりのご協力をお願い申し上げます。

自信と誇りと愛着に満ちたまち おごおり

「市民との協働のまちづくり」を基本理念に
3つのビジョンを掲げ、10の政策を実行



こども教育で心豊かなひとづくり

未来にはばたく子ども達の健やかな育ちを地域社会全体で支えあい、個性や能力を自由に発揮できる子ども達を育てていきます。また、スポーツや文化活動を通じて、子どもと大人が共に成長していける心豊かなひとづくりを実現します。

【政策】

- 1 生きる力を身につけ新しい時代を拓くひとづくり
- 2 未来にはばたく子ども達を共に育むまち
- 3 心のふれあいで共に育ちあうまち



地域活力にあふれたふるさとづくり

「まち」と「ひと」の元気を創造し、地域の特性を活かした魅力ある地域振興と個性と活力に満ちた地域社会の実現を目指します。また、よりよい市民生活を実現するため、暮らしを支える生活基盤の整備、自然と共生した環境にやさしいまちづくり、市民の信頼に応える行財政運営など、誰もが快適で暮らしやすいまちづくりを目指します。

【政策】

- 4 豊かな自然に恵まれた快適で暮らしやすいまち
- 5 創意、活力にあふれた賑わいのあるまち
- 6 市民と協働で創る夢と希望のあるまち
- 7 市民の信頼に応える行財政運営



健康で安心して暮らせるまちづくり

誰もが安心して生きがいを持って暮らせる安全・安心の地域社会を実現します。また、元気で長生き、「健康で良かった」「小郡に住んで良かった」と思われるような、健康づくり日本一のまちづくりを目指します。

【政策】

- 8 元気で長生き、健康で生きがいのあるまち
- 9 支えあい認めあい、誰にでも優しいまち
- 10 みんなでつくる安全と安心のまち